款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	2,954 千円	2,679 千円	348～349

【教育総務課】

○教育委員会　　2,679 千円

■定例教育委員会の開催

令和 6 年度は 12 回開催しました。

委員会では、規則・要綱等の制定・改正、各種委員・審議会委員の任命又は委嘱等計 61 件の議案について審議を行いました。

【定例教育委員会】

■各種研修会への参加及び視察研修の実施

佐世保市で開催された県市町村教育委員会連絡協議会の研修会及び県市町村教育委員会研究大会に参加し、分科会ごとのテーマに沿って情報交換や意見交換を行いました。

また、令和 6 年 7 月には、友好交流及び歴史的知見を深めるため、姉妹都市である愛知県額田郡幸田町へ先進地視察を行いました。

■教育委員の活動状況

教育委員会や総合教育会議などの各種会議、運動会、学校経営訪問及び各種式典等への参加など、年間で 58 回の活動を行いました。

【島原市教育委員会表彰】

○総合教育会議

・開催日時　令和 7 年 2 月 14 日（金）

・参加者　市長、教育長、教育委員、市職員

・議題

（1）　島原市教育大綱及び島原市教育振興基本計画について

（2）　島原城跡の活用について

（3）　部活動の地域連携・地域移行について

（4）　英語教育推進のまちづくりについて

【総合教育会議】

総合教育会議に出席し、上記協議題について市長と協議するとともに意見交換を行いました。

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	1	2	事務局費	477,496 千円	462,004 千円	348～357

【学校教育課】

〇北村西望賞教育美術展　　679 千円

名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展（第 46 回目）を開催しました。また、北村西望氏生誕 140 年特別展を開催し、代表作「若き日の母」や「将軍の孫」などの 17 作品を合わせて展示しました。

平面の部及び立体の部　出品数 262 点

・北村西望賞、奨励賞授賞状況

区分	小　学　校		中　学　校	
	西望賞	奨励賞	西望賞	奨励賞
平面の部	2 人	6 人	1 人	3 人
立体の部	2 人	6 人	1 人	3 人

「ぶどうを食べたよ」
河内　咲輝（高野小）

「ぼくの学校の大きな大きな木」
中田　優駿（島三小）

「晩　秋」
宇土　杏（有明中）

「背泳ぎにチャレンジ」
池田　佑亮（島二小）

「２０２４　パリ」
満尾　勝義（島二小）

「ムッシュ・ドレ」
苑田　彩楓（島三中）

○小・中学校学力向上対策事業　　6,355 千円

全国学力・学習状況調査（小 6・中 3）及び県学力調査（小 5・中 2）の実施時期に合わせて市学力調査（小 2～4・中 1）を令和 6 年 4 月に実施しました。

また、令和 7 年 1 月にも市学力調査（中 1・中 2）を実施しました。

本事業は児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学力向上に向けての取組の一層の充実を図ったり、習熟度に応じた個別対応を図ったりするために、学力調査を実施しています。

・全国学力・学習状況調査及び県学力調査を実施したことで、全国平均や県平均と市全体また学校別の学力の定着状況を比較し、課題を把握することができました。

・市学力調査については小学校 2 年の国語、算数、小学校 4 年の算数において平均正答率が全国平均を上回ることができました。また、中学校 1 年の数学においても全国平均を上回ることができました。小学校 3 年の国語、算数、4 年の国語、中学校 1 年の国語については、全国平均と同数かわずかに下回る結果となっています。

以上のことから、本市の小・中学生の学力は、期待される一定の学力が身に付いている状況であります。学力向上に向け、全国、県、市の学力調査の結果をもとに数値目標を掲げ、ねらいに即した「書く活動」を重視した授業、補充学習、家庭学習の充実、タブレット端末の活用に学校全体で取り組んだ成果と言えます。

具体的実践事項

・市学力調査実施教科

学年	教科
小２・小３・小４	国語・算数
中１	国語・数学
中１・中２	国語・数学・英語

・島原市学力向上研修会

小学校…年 1 回　中学校…年 2 回

・島原市教育講演会への講師招聘

佐賀大学　全学教育機構　教授（人文科学・芸術部門）　宮武（みやたけ）　正登（まさと）　氏

○外国語指導助手招致事業　　32,249 千円

現代社会のグローバル化に対応できる児童生徒の育成を目的に、外国語指導助手（ＡＬＴ）を招致し、中学校では週に 2～3 回、小学校では週に 1～2 回ＡＬＴを活用した授業を実施しました。現在、7 人のＡＬＴを配置しており、小学校 3・4 年生においてもＡＬＴを活用した授業を受けられるようになりました。

また、ＡＬＴを活用した事業として、市内小学校 5・6 年生、中学校 1・2 年生を対象としたユネスコジオパーク島原市イングリッシュキャンプを開催しました。さらに、小学生のイングリッシュ・スピーチコンテスト市内選考会に、審査員として出席し、参加者への助言・賞賛等を行いました。

小学校においては、英語への興味・関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育ちました。

氏名	年数	国籍	時数	配置校	訪問校	訪問校
リ　シショウ Li　Zixiang	2年目	U.S.A.	17	第一小 (17)		
ピーターセン メアリ　イザベル Petersen　Mary　Isabelle	1年目	U.S.A.	22	第二小 (12) 火水木	大三東小 (10) 月金	
ニカイドウ　ミア　ハルナ Nikaidoh　Mia　Haruna	1年目	U.S.A.	20	第一中 (12) 月木金	第四小 (8) 火水	
イブラヒム　ファラ　Ibrahim Farah アブドゥルナシル　Abdulnasir	3年目	U.S.A.	17	第二中 (6) 火木	第三小 (11) 月水金	
アンドリューズ　アイザック Andrews Issac	4年目	U.S.A.	18	第三中 (6) 月木	第五小 (12) 火水金	
バンダイク　アシュリー　ニコル VanDyke Ashley Nicole	2年目	U.S.A.	19	三会中 (5) 火水	三会小 (8) 月金	高野小 (6) 木
マッキントッシュ　イアン クランシー Mcintosh　Ian　Clancy	1年目	U.S.A.	19	有明中 (9) 月水金	湯江小 (10) 火木	

（　）は週あたりの授業時数

○不登校児童生徒適応指導事業　　4,650千円

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てました。

・適応指導教室「ひまわり教室」　島原市北門町130番地
相談員数　2人
開室日（時間）　毎週月曜日から金曜日までの週5日（午前9時30分～午後3時30分）
活動内容　①児童生徒に対する支援　②保護者への支援　③在籍校への支援

令和６年度 不登校児童生徒数	小学校	21人
	中学校	55人
	計	76人

令和６年度 ひまわり教室通級者数	小学校	1人
	中学校	5人
	計	6人

・不登校児童生徒数の推移

区　　分		H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	人数（人）	4	4	6	9	18	21	21
	割合（%）	0.26	0.17	0.25	0.39	0.78	0.96	0.95
中学校	人数（人）	25	22	29	35	55	65	55
	割合（%）	2.30	1.94	2.75	3.15	4.89	6.12	4.92
人数計（人）		29	35	26	44	73	86	76

（不登校とは、病気・けが等ではなく年間 30 日以上欠席があった児童生徒）

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	158,852 千円	153,559 千円	356～361

【学校教育課】

○各種施設管理委託料　15,586 千円

校舎監視業務や各種法定管理業務委託等により、施設の維持管理と安全確保に努めました。

○児童見守りシステム運用業務委託料　3,216 千円

児童の安全・安心を確保するシステムとして、令和 4 年度から新たな児童見守りシステムの運用を開始し、既設の端末感知用基地局（71 箇所）の管理及び新入生児童（303 人）への端末配付を行いました。

【業務委託内容】

対象者	市内全小学校の 1・2 年生（特別支援学級と三会小学校長貫分校地区の児童は全学年）780 人
基地局	端末感知用基地局（71 箇所）

○水泳授業補助業務委託料　4,410 千円

令和 6 年度の有明プール利用による授業は、大三東小学校、高野小学校、湯江小学校、三会小学校、長貫分校で実施しました。

○校務支援システム利用料　3,221 千円

教職員の業務負担、長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることとして導入した校務支援システムにより働き方改革等の推進を図りました。

〇学校管理備品購入費　　4,678 千円

器具の整備を行い、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】　　（単位：千円）

品　目	学　校　名	金　額
児童用机・イス	第一小・第四小・第五小	3,348
シュレッダー	第一小・第五小・大三東小	286
オージオメータ	第二小・湯江小	261
学校家具類	第一小・大三東小	253
その他	市内各小学校	530

〇校庭芝生化事業　　51 千円

・事業目的　　児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を実施しました。第四小学校をモデル校として地元住民が主体となり校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組みました。

・活動場所　　第四小学校運動場

・活動内容　　施肥、芝刈、水やり、除草作業等

〇子育て応援新入学児童ランドセル支給事業　　5,439 千円

・事業目的　　子ども・子育て応援の一環として、保護者の経済的負担軽減と子どもたちの身体への負担を考慮して、新入学児童（新小学校 1 年生）に対し、ランドセルと同等の通学用かばんを支給しました。

・支給対象者　令和 7 年度に入学する児童全員（令和 6 年度年長児）（該当児童 307 人）

・製品は、重さ 930ｇ未満の「軽量リュック型通学用品」

・保護者が 3 色（レッド・ブラウン・ブルー）から選択

・6 月末に発注→1 月下旬に納品→2 月上旬各学校の入学説明会で保護者へ支給

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	186,000 千円	171,087 千円	360～365

【教育総務課】

○教育振興備品購入費　　308 千円

教育振興のために体育器具等を購入して、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】　　（単位：千円）

品　目	学　校　名	金　額
体育器具	三会小・湯江小	116
音楽教材	第四小・第五小	113
冷凍冷蔵庫	大三東小	79

【学校教育課】

○教師用指導書・教科書購入（小学校）　35,171 千円

4 年に 1 度の教科書改訂（小学校）に伴い、令和 5 年度に教科書採択が行われ、令和 6 年度から新しい教科書が小学校で使用が開始されました。

このことにより、各小学校において全教科、教師用指導書とデジタル教科書を購入しました。各学校の必要数を精査し購入しました。

○野外宿泊学習事業（小学校）　1,165 千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施しました。

集団行動を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となりました。

・実施小学校　全 9 校
・活動場所　　長崎県立千々石少年自然の家　第一小、第五小、三会小
　　国立諫早青少年自然の家　第二小、第三小、第四小、大三東小、
　　高野小、湯江小
・日　　程　　1 泊 2 日　第一小、第二小、第三小、第四小、第五小、三会小、
　　大三東小、湯江小、高野小
・活動内容　　オリエンテーリング、ウォークラリー、ナイトハイキング、野外炊飯、
　　課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、
　　星空ウォッチング、ボッチャ、イニシアティブゲーム、焼き板づくり等

○学校司書配置事業（小学校）　　11,928 千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置しており、その結果、不読者率１％以下を維持する等、図書館教育の充実を図ることができました。

・各小学校に学校司書を 1 人配置（計 9 人）
・1 日 6 時間の週 3 日配置

■貸出冊数の推移（児童一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	166.8	173.4	181.9	184.5	194.7	191.9	215.0

■不読者率（1 か月に 1 冊も本を読まなかった者の割合）

区分	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	0.28%	0.26%	0.25%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%

※ 島原市教育振興基本計画　目標　不読者率１％以下

○学習支援員事業（小学校）　　21,053 千円

小学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行いました。その結果、発達障害を含む障害のある児童の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができました。

また、医療的ケアが必要な児童への支援として、看護師免許を有した医療的ケア児等支援員を小学校に 1 人配置しました。

・小学校 5 校に支援員を 1 人配置、小学校 4 校に 2 人配置（計 13 人）
・1 日 5 時間の週 5 日配置

○幼児ことばの教室設置事業　　1,184 千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害を改善することができました。

【入退室等の状況】

区分	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
教育相談（件）	33	35	42	35	33	31	26
入室児（人）	30	25	30	23	27	29	23
退室児（人）	24	17	24	44	40	21	20

・第二小に支援員を 1 人配置
・概ね週 4 日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行いました。

○指定研究校補助金　　504 千円

毎年、小学校の 2～4 校程度（小・中学校で 3 校）を研究校に指定しています。指定を受けた学校は自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果の発表を行いました。

・1 つのテーマに沿って学校単位で 3 年間研究に取り組むことを通して教師の指導力や授業力の向上を図ることができました。
・学校訪問や研究授業における指導助言を行いました。

令和 6 年度小学校研究指定校（3 校）

学校名	研究テーマ	指定期間
第二小	主体的な学びで「わかった」「できた」喜びを感じる児童の育成 ～算数科におけるリード学習による協働的な学び合いを通して～	R4～R6 年度 3 年目
三会小	ふるさとの魅力を知り、ふるさとへの思いを語れる児童生徒の育成 ～地域の豊かな素材・人材との交流を通して～	R6～R8 年度 1 年目
大三東小	自ら考え、主体的に学ぼうとする大三東っ子の育成 ～算数科における「数学的な見方・考え方」を働かせた授業改善を通して～	R5～R7 年度 2 年目

【教育総務課】

○ＩＣＴ推進事業経費　　53,839 千円

・ＩＣＴ支援員

ＩＣＴ教育にかかる機器類の操作支援や授業支援を目的に、令和 6 年度はＩＣＴ支援員 2 人を配置しました。

・フィルタリングソフト

1人1台端末が、インターネット利用時に有害サイト等へアクセスできないようにするためのフィルタリングソフトを購入しました。

・ＧＩＧＡスクールネットワーク管理保守業務委託料

ネットワーク断線の早期復旧や、機器の故障等に対応するため、引き続きネットワークの管理保守を委託しました。

・1 人 1 台端末更新

令和元年に導入した小学校 1 年生用の 1 人 1 台端末の更新及び予備機確保のため、405 台の 1 人 1 台端末を購入しました。

・ＧＩＧＡスクール通信ネットワーク及び端末充電保管庫増設業務委託

小学校 1 年生用の通信ネットワーク及び端末充電保管庫を増設しました。

・校務用ＰＣ更新

令和元年等に購入した校務用ＰＣ64 台の更新を行いました。

○小学校就学援助経費　　22,306 千円

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行いました。

（児童に対する支給実績）

支給費目	件数	支給総額（円）	一人当たり（円/年）
学用品費等	327	8,204,270	22,383
うち新入学用品費（R6 入学後）	(1)	(57,060)	57,060
うち新入学用品費（R7 入学前）	(43)	(2,453,580)	57,060
うち学用品費・通学用品費（R7 入学前）	(43)	(335,400)	7,800
うち学用品費・通学用品費	(283)	(3,649,140)	12,894
うちオンライン通信費	(251)	(1,709,090)	6,809
修学旅行費	58	1,328,044	22,897
校外活動費	43	103,430	2,405
社会科見学活動費	41	142,790	3,483
医療費	57	318,080	5,580
学校給食費	283	12,210,288	43,146

準要保護世帯の認定状況（小学校）

	R2	R3	R4	R5	R6
認定者数（人）	335	329	303	288	283
全児童数（人）	2,278	2,308	2,312	2,273	2,219
認定率（%）	14.71	14.25	13.11	12.67	12.80

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	616,455 千円	244,631 千円	364～367

【教育総務課】

○工事請負費　　6,415 千円

緊急度を考慮し計画的に小学校施設の整備充実に努めました。

主な工事請負費内容

学校名	工事名称	金額（千円）
第二小学校	放送設備取替工事	4,937

○建築非構造部材の耐震化事業　　199,944 千円

近年の大規模な地震では天井材や外壁など、いわゆる「非構造部材」の落下による被害も発生しており、また災害時における避難場所としての必要な機能が発揮できるよう外壁の耐震対策を行っています。

年次計画で更新を進めており、令和 6 年度は第五小学校、大三東小学校の工事を行いました。

学校名	工事名称	金額（千円）
第五小学校	外部改修工事	59,433
大三東小学校	外部改修工事	135,146

○照明設備化ＬＥＤ化事業　　25,644 千円

学校施設の照明は、ほとんどが蛍光灯を使用している状況であります。蛍光灯の生産が終了しつつあり交換用部品が入手困難で修理対応ができない状況となっています。

このため、年次計画で更新を進めており、令和 6 年度は高野小学校（Ⅱ期）、大三東小学校の照明設備計 543 基を更新し、児童の学習環境の整備・充実を図りました。

学校名	工事名称	金額（千円）
高野小学校	照明ＬＥＤ化工事（Ⅱ期）	6,742
大三東小学校	照明ＬＥＤ化工事	17,358

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	70,505 千円	67,050 千円	366～371

【教育総務課】

○各種施設管理委託料　　9,525 千円

校舎監視業務や各種法定管理業務委託等により、施設の維持管理と安全対策に努めました。

○校務支援システム利用料　　1,610 千円

教職員の業務負担、長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることとして導入した校務支援システムにより働き方改革等の推進を図りました。

○学校管理備品購入費　　2,548 千円

器具の整備を行い、学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】

品　　名	学　校　名	金額（千円）
生徒用机・椅子	第二中・有明中	1,470
学校家具類	第二中・有明中	298
デジタル身長体重計	第一中	240
大型液晶ディスプレイ	三会中	237
その他	市内各中学校	303

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	73,229 千円	68,396 千円	370～375

【教育総務課】

○教育振興備品購入費　　573 千円

教育振興のために体育器具等を購入して学校教育のよりよい環境づくりに努めました。

【備品購入の内訳】

品　目	学　校　名	金額（千円）
トロンボーン	有明中	440
体育器具	第三中	133

【学校教育課】

○野外宿泊学習・ジオパーク学習事業（中学校）　1,180 千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うことをねらい計画しました。また、ジオパークについて調べ、火山とともに生活する人々の暮らしや歴史を学習し、自然を守り郷土を愛する心を育てることをねらいの一つとしました。

・実施中学校　5 校　（二中はジオパーク学習のみ実施）
・活動場所　　長崎県立千々石少年自然の家　国立諫早青少年自然の家
・日　　程　　1 泊 2 日
・活動内容　　ジオパーク学習、天体観測、野外炊さん等

○学校司書配置事業（中学校）　6,764 千円

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置しており、その結果、不読者率 1%以下を維持することができました。また、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス（資料の紹介、提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができました。

・各中学校に学校司書を 1 人配置（計 5 人）
・1 日 6 時間の週 3 日配置

■貸出冊数の推移（生徒一人当たりの年間平均貸出冊数）

区分	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
中学校	25.5	25.3	29.4	30.1	27.3	28.9	25.4

■不読者率（1 か月に 1 冊も本を読まなかった者の割合）

区分	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
中学校	0.66%	0.49%	0.73%	0.25%	0.01%	0.00%	0.06%

※ 島原市教育振興基本計画　目標　不読者率 1%以下

○学習支援員事業（中学校）　11,512 千円

中学校において普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行いました。その結果、発達障害を含む障害のある生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができました。

・中学校 3 校に支援員を 1 人配置、中学校 2 校に支援員を 2 人配置（計 7 人）
・1 日 5 時間の週 5 日配置

○心の教室相談事業　　5,166 千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在である「心の教室相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供しました。

（業務内容）

・生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。

・地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。

・その他、学校教育活動の支援を行います。

（配置数）

・各中学校に１人ずつ配置

（相談延べ人数）　　（単位：人）

区　　分		H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
１年	男	418	495	78	198	22	163	177
	女	332	465	192	265	139	201	444
２年	男	291	282	353	23	436	20	84
	女	347	117	414	376	314	333	312
３年	男	300	609	165	478	453	425	85
	女	320	330	332	567	590	446	365
延べ人数計		2,008	2,298	1,534	1,594	1,907	1,588	1,458

・心の教室相談員等連絡協議会を 2 回開催しました。

○指定研究校補助金　　336 千円

毎年、中学校の 1～3 校程度（小・中学校で 5 校）を研究校に指定しています。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表しています。

・1 つのテーマに沿って 3 年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができました。

・学校訪問や研究授業における指導助言を行いました。

令和 6 年度中学校研究指定校（2 校）

学校名	研究テーマ	指定期間
第三中	豊かな表現力を備えた生徒の育成 ～“基礎基本の定着”と“書く活動”を通して	R6～R8 年度 1 年目
有明中	豊かな表現力を持ち、生き生きと活動する生徒の育成 ～授業改善と学びの習慣化に向けた取組を通して～	R4～R6 年度 3 年目

【教育総務課】

○ＩＣＴ推進事業経費　　3,175 千円

・フィルタリングソフト

1人1台端末が、インターネット利用時に有害サイト等へアクセスできないようにするためのフィルタリングソフトを購入しました。

・ＧＩＧＡスクールネットワーク管理保守業務委託料

ネットワーク断線の早期復旧や、機器の故障等に対応するため、引き続きネットワークの管理保守を委託しました。

○中学校就学援助経費　　24,820 千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行いました。

(生徒に対する支給実績)

支給費目	件数	支給総額（円）	一人当たり（円/年）
学用品費等	264	10,855,050	41,118
うち新入学用品費（R6 入学後）	(2)	(126,000)	63,000
うち新入学用品費（R7 入学前）	(62)	(3,906,000)	63,000
うち学用品費・通学用品費（R7 入学前）	(58)	(722,100)	12,450
うち学用品費・通学用品費	(203)	(4,737,100)	23,335
うちオンライン通信費	(203)	(1,363,850)	6,718
修学旅行費	63	3,730,042	59,207
校外活動費	25	56,220	2,249
医療費	24	170,970	7,124
学校給食費	203	10,007,848	49,300

準要保護世帯の認定状況（中学校）

	R2	R3	R4	R5	R6
認定者数	181 人	197 人	208 人	206 人	203 人
全生徒数	1,131 人	1,112 人	1,127 人	1,092 人	1,119 人
認定率	16.00%	17.72%	18.46%	18.86%	18.14%

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	257,540 千円	112,464 千円	374～377

【教育総務課】

○工事請負費　　20,856 千円

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めました。

主な工事請負費内容

学校名	工事名称	金額（千円）
第一中学校	高圧受変電設備改修工事	15,136
第二中学校	美術室屋上防水改修工事	4,950

○建築非構造部材の耐震化事業　　58,696 千円

近年の大規模な地震では天井材や外壁など、いわゆる「非構造部材」の落下による被害も発生しており、また災害時における避難場所としての必要な機能が発揮できるよう外壁の耐震対策を行っています。

年次計画で更新を進めており、令和 6 年度は有明中学校の工事を行いました。

学校名	工事名称	金額（千円）
有明中学校	外部改修工事	55,979

○照明設備ＬＥＤ化事業事業　　23,422 千円

学校施設の照明は、ほとんどが蛍光灯を使用している状況であります。蛍光灯の生産が終了しつつあり、交換用部品が入手困難で修理対応ができない状況となっています。

このため、年次計画で更新を進めており、令和 6 年度は第一中学校の照明設備 558 基を更新し、生徒の学習環境の整備・充実を図りました。

学校名	工事名称	金額（千円）
第一中学校	照明ＬＥＤ化工事	22,296

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	64,355 千円	55,103 千円	376～393

【生涯学習課（旧社会教育課）】

○市民文化講座経費　　40 千円

市民の文化に関する教養の向上と興味関心を高めるために開催しました。

第 229 回市民文化講座　「画家への道Ⅱ－道草－」	参加者数　66 人
第 230 回市民文化講座　「島原の乱と佐賀藩」	参加者数　78 人

○梅林俳句会経費　　16 千円

俳句を通した市民の文化交流を図ることができました。

参加者数	23 人

○市美術展経費　　386 千円

市民の鑑賞と美術活動の場としての交流を図ることができました。

出品者数	178 人
出品点数	312 点
入場者数	873 人

市美術展

○自主事業運営経費　　1,402 千円

子どもたちに文化体験の機会を設けるため、通年で「肥前島原子ども狂言」を開催し、子どもたちが伝統文化に親しみました。また令和 7 年度に開催予定の国民文化祭に向け新作のオリジナル狂言を制作しました。

・体験型事業

名　称	肥前島原子ども狂言 (5 月～3 月､計 19 回)
参加者実数	38 人

肥前島原子ども狂言

○市民音楽祭経費　　442 千円

本市における音楽の普及向上を図ることができ、観衆に感動を届けることができました。

参加団体数	26 団体
入場者数	1,216 人

島原市民音楽祭

○国民文化祭経費　445 千円

令和 7 年度に長崎県で開催される国民文化祭に向けて、市内文化団体等と連携を取りながら広報・啓発活動、先進地視察等を行いました。

○文化財経費　　15,311 千円

指定文化財の保護と活用、肥前島原松平文庫の公開、修復、マイクロフィルム化等を行いました。

・文化財数　国指定 6　国登録 39　県指定 10　市指定 77
・肥前島原松平文庫　来庫者数　300 人
　　マイクロ撮影数　　96 点(5,425 コマ)

○旧島原藩薬園跡整備事業費　　4,395 千円

薬草や薬木の植え替え整備を行うとともに除草等による維持管理に努めました。

・旧島原藩薬園跡　　入場者　615 人

○埋蔵文化財範囲確認調査事業経費　　8,244 千円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行いました。

・埋蔵文化財発掘調査　2 遺跡(下宮遺跡、小原下遺跡)
　島原城跡国指定に向けて総合調査事業を行い、令和 6 年 10 月に『長崎県指定史跡島原城跡総合調査報告書』を刊行しました。島原城跡は、令和 7 年 3 月 10 日に国の史跡に指定されました。

○島原市文化財保存活用地域計画　　441 千円

島原市に所在する文化財を「島原の歴史」等から抽出し現地調査等を行い、全体的な保存・活用の計画を作成しました。(令和 3 年度～令和 6 年度) なお、「島原市文化財保存活用地域計画」は、令和 6 年 7 月 19 日に文化庁長官の認定を受けました。

○島原城跡三ノ丸御殿保存活用事業　　975 千円

島原市指定文化財　三ノ丸御殿仲之御居間の保存活用を図るため、建物の解体保存に向けた建物調査を実施しました。また、島原城築城 400 年記念事業として、三ノ丸御殿仲之御居間の一般公開を行いました。

〇公民館学級運営費　　1,611 千円

市民のニーズに応じた各種講座・学級を開設し、自ら学ぶ生涯学習の意欲が高まりました。

・三会公民館学級運営費　264 千円　　・杉谷公民館学級運営費　139 千円
・森岳公民館学級運営費　298 千円　　・霊丘公民館学級運営費　235 千円
・白山公民館学級運営費　140 千円　　・安中公民館学級運営費　209 千円
・有明公民館学級運営費　326 千円

学級名	学級数	実施回数	参加人員（延べ）
青年教室	1学級	1回	320人
女性学級	9学級	74回	981人
家庭教育学級	7学級	34回	3,399人
高齢者学級	7学級	63回	1,112人
公民館自主講座	38学級	76回	924人
合計	62学級	248回	6,736人

〇放課後子ども教室推進事業経費　　2,629 千円

・スクールキッズ

夏休み中に公民館において開設し、生活リズムの定着化と自学の習慣化を図りました。

7 月 22 日～8 月 1 日（各 4 日間）全 7 地区

公民館

参加人員 延べ 763 人

夏休みスクールキッズ

・放課後子ども学習室

市内全小・中学校において開設し、自学の習慣化を図りました。

4 月～3 月（長期休業中を除く）

実施日数　延べ　1,633 日
参加人員　延べ　32,984 人

・夏休み稽古館

小学生を対象として、初級コース、中級コース各８回実施しました。
内容は論語の素読、古典の音読と暗唱を行い、古典文学に親しむことができました。

参加者数　延べ 96 人

〇通学合宿支援事業経費　　44 千円

通学合宿は、小学校区単位で 3 年生から 6 年生までを対象として、2 泊 3 日の生活体験を公民館で実施し、たくましく生きる力を育む事業です。森岳・霊丘地区で実施しました。

〇地域・家庭教育力活性化推進事業費　　16 千円

地区ごとに家庭教育学級（家庭教育・健康教育講座・思春期子育て講座）を実施しました。

・健康教育講座　　開催数　1 回　参加者数　38 人

（回数及び人数は、女性学級、家庭教育学級、高齢者学級の再掲）

・思春期子育て講座　　開催数　1 回　参加者数　30 人

（回数及び人数は、家庭教育学級、健康教育講座の再掲）

〇子ども読書活動推進事業費　　188 千円

第三次島原市子ども読書活動推進計画の取組として、図書ボランティア養成講座、学校図書館向け講座等を実施しました。また、第 4 次島原市子ども読書活動推進計画を策定しました。

〇二十歳の集い経費　　307 千円

人生の節目である二十歳を迎えられた方をお祝いするため、20 歳前後の若い方たちが主体となって「故郷しまばら二十歳の集い」式典を開催しました。

・開催日　令和 7 年 1 月 3 日（金）

・式典対象者　395 人

・出席者　　288 人

〇少年センター運営経費　　5,285 千円

少年犯罪・非行等の未然防止のために補導活動、相談活動、環境浄化活動を実施しました。

・令和 6 年度実績

声かけ件数 8 件、相談件数 3 件、白ポスト回収 133 点、立入調査 2 回、自転車指導 2 回

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	2	公民館費	142,818 千円	137,248 千円	392～409

【生涯学習課（旧社会教育課）】

〇公民館運営費　　86,025 千円

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行いました。

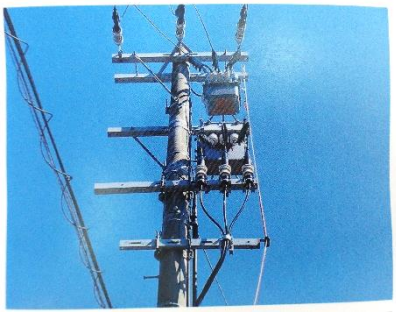
令和 6 年度公民館利用状況

区分	公民館事業		社会教育関係団体		各種団体		趣味・サークル		官公署他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
有明	76	1,920	88	1,754	93	1,774	1,141	7,897	263	9,388	1,661	22,733
三会	40	1,172	86	1,624	101	1,351	370	2,562	187	5,351	784	12,060
杉谷	46	1,259	51	1,153	93	2,315	870	8,181	306	9,570	1,366	22,478
森岳	87	2,195	172	3,083	212	3,439	1,367	11,797	221	4,682	2,059	25,196
霊丘	52	1,108	129	2,636	156	2,647	867	7,792	212	5,912	1,416	20,095
白山	30	655	72	1,115	127	2,657	818	8,980	117	6,554	1,164	19,961
安中	39	756	44	650	116	2,170	343	2,519	142	5,029	684	11,124
計	370	9,065	642	12,015	898	16,353	5,776	49,728	1,448	46,486	9,134	133,647

①杉谷公民館の施設維持・管理に要する諸経費　　2,918 千円

施設利用者の安全性や利便性確保のため、設備更新を行いました。

・杉谷公民館高電圧機器改修工事　　2,035 千円
電気設備点検における指摘があった、更新推奨時期の到来及び近隣施設への波及停電事故防止のため、区分開閉器及び引込ケーブルを更新しました。


（高電圧機器改修）

・陶芸窯運搬業務委託料　　674 千円

杉谷公民館陶芸用電気窯（平成 24 年度設置）の老朽化による処分業務、安中公民館にある陶芸用電気窯を有効活用するため、杉谷公民館への移設運搬業務を行いました。

・杉谷公民館大ホール非常灯修繕　　209 千円

建築設備定期調査において、照度不足の是正指摘があったため、非常灯を交換しました。

②森岳公民館の施設維持・管理に要する諸経費　　2,813 千円

電気設備点検の指摘により、高圧引込線の管路変更とケーブルの入れ替えを行いました。

また、消火器、スクリーン、ヘッドセットマイク、事務室用ブラインド、掃除機 2 台の購入と、電子ピアノの処分を行い、施設の安全性の確保と施設利用者の利便性の向上を図りました。

（高圧引込線の管路変更とケーブルの入れ替え）

③安中公民館屋上防水改修工事　　20,240 千円

・安中公民館外部改修工事設計業務委託　　1,683 千円

・安中公民館外部改修工事　　18,557 千円

（事業内容）

施設の老朽化により天井からの雨漏りが発生しており、公民館利用に支障をきたしていたため、屋上防水改修及び外壁塗装を実施しました。

（着工前）

（竣工）

④有明公民館の施設維持・管理に関する経費　　2,316 千円

・ロビー空調改修工事　　1,188 千円

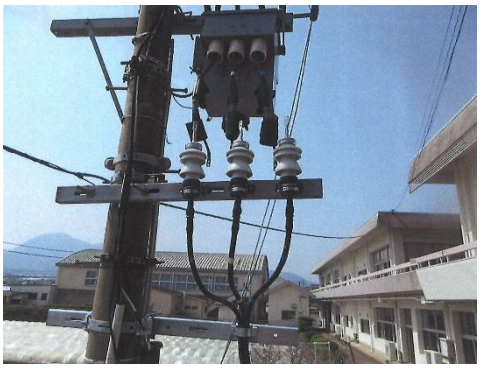
設置後、22 年が経過しており、2 基のうち 1 基が正常に作動しなくなったため、更新を行いました。

・消防設備不良個所改修　　407 千円

消火ポンプ制御盤が、内部回路の不良から時々音を発しており、減水に対してブザー音が正確に作動しない状態のため改修を行いました。

・電気設備不良箇所修繕　　721 千円

電気設備点検において、引込ケーブルの絶縁抵抗値が低下しており、地域停電（波及事故）の原因となるため更新が必要との指摘があったことから、更新を行いました。



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	3	図書館運営費	71,774 千円	71,636 千円	408～409

【生涯学習課（旧社会教育課）】

○図書館運営経費　　71,636 千円

島原図書館、有明図書館は、（一財）島原市教育文化振興事業団を指定管理者として管理運営を委託しました。

（再掲）図書館指定管理料　　60,085 千円

・島原図書館

開館日数	289 日	登録者数	55,302 人
利用者数	27,184 人	貸出冊数	137,891 冊
視聴覚資料貸出点数	2,119 点	蔵書数	139,316 冊
自主事業	おはなしのじかん、夏休み工作教室、手作り講座、読書感想画展等を実施		

・有明図書館

開館日数	287 日	登録者数	55,302 人
利用者数	11,046 人	貸出冊数	67,739 冊
視聴覚資料貸出点数	1,262 点	蔵書数	86,821 冊
自主事業	おはなしポケット、手作り講座、子供向け講座等を実施		

※登録者数については、両図書館共通の貸出カードを交付するため同数となっています。

※蔵書数には、視聴覚資料を含みます。

新春おはなし会＆かるたとり

遊書教室

（施設整備）

島原図書館……空調設備エアハンドリングユニット修理　高圧ケーブル・防護管取替工事
高圧気中開閉器取替工事　など

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	4	4	文化会館運営費	83,029 千円	81,723 千円	408～411

【生涯学習課（旧社会教育課）】

〇文化振興経費　　81,723 千円

島原文化会館、有明文化会館は、（一財）島原市教育文化振興事業団を指定管理者として管理運営を委託しました。

（再掲）島原文化会館　指定管理料　　37,446 千円

開館日数	307 日
利用人数	60,655 人
利用回数	822 回
自主事業	映画上映会、スプリングコンサート、しまばら音フェス、 最強‼歌まね LIVE2024in 島原、島原新春寄席など

（再掲）有明文化会館　指定管理料　　34,081 千円

開館日数	307 日
利用人数	41,930 人
利用回数	1,425 回
自主事業	避難訓練コンサート、ワイヤーマルシェ、ふれあいコンサート、 いきいき体操教室、ダンスフェスティバルなど

（施設の整備）

・島原文化会館…女子トイレ配管修繕、小ホール WiFi 工事、大ホールスポットライト
空冷ファン修理、大ホール調光操作卓用無停電電源装置バッテリー交換、
丸台スタンドなど

・有明文化会館…舞台照明設備部品交換修繕、暗転幕パイプ袋修繕、監視カメラ取替など

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	46,502 千円	38,827 千円	410～413

【学校教育課】

○学校体育の質的向上と部活動の充実費　　10,385 千円

本市児童生徒の体力向上に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図りました。

・部活動消耗器材費　448 千円
・部活動充実費　148 千円
・部活動運営費補助金　1,106 千円
・長崎県中学校総合体育大会選手派遣費補助金　5,451 千円
・島原市中学校体育大会補助金　2,628 千円
・中学校総合体育大会九州・全国大会派遣費補助金　604 千円

○児童生徒及び教職員の各種健康診断の実施　　5,216 千円

島原市立小･中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断を実施しました。

・児童・生徒検診（結核、心臓、尿）　2,439 千円
・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿）　2,746 千円
・教職員健康ストレスチェック事業　31 千円

○フッ化物洗口推進事業　　466 千円

う歯予防及び低減に向けて、全小・中学校においてフッ化物洗口を実施しました。

・消耗品費（洗口用紙コップ代他）　130 千円
・医薬材料費（洗口用薬剤代）　317 千円

（実施率）H27 年度開始時　　30％

年度	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6
実施率	100%	100%	100%	100%	92%	100%	100%

※Ｒ４はコロナウイルス感染症予防のため１校未実施

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	2	スポーツ振興費	788,237 千円	395,519 千円	412～423

【スポーツ課】

○平成新山島原学生駅伝　　17,550 千円

冬の一大スポーツイベントとして定着している平成新山を冠とする大会として、島原の魅力・情報を発信することで交流人口の拡大と地域の活性化に努めました。

＜参加チーム数＞

男子	女子	合計
24 チーム	9 チーム	33 チーム

○スポーツ大会　　301 千円

＜開催実績＞

大会	期日	対象	参加者数
市民親睦サッカー大会	4 月 21 日（日）	一般	218 人
市民親睦ソフトバレーボール大会	7 月 14 日（日）	一般	79 人
市民親睦ソフトボール大会	8 月 4 日（日）	一般	91 人
少年軟式野球大会	12 月 8 日（日）	中学生	60 人
少年ソフトボール大会	12 月 8 日（日）	小学生	100 人
市民親睦テニス大会	12 月 8 日（日）	高校生・一般	58 人
市民親睦卓球大会	2 月 9 日（日）	小・中・高・一般	108 人
市民親睦バドミントン大会	2 月 16 日（日）	一般	36 人
合計	8 回		750 人

○島原市民体育祭　　2,666 千円

広く市民各層の体育・スポーツの普及振興と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展に寄与するため島原市民体育祭を開催しました。

＜開催実績＞

区分	期日	参加者数
市民体育祭大運動会	10 月 13 日（日）	3,500 人
市民体育祭各種競技会（19 競技）	10 月　6 日（日） ※一部競技は別日程	1,494 人
合　　計		4,994 人

○有馬スポーツ賞　　378 千円

全国大会出場など、スポーツ大会で優秀な成績を収めた小・中学生を表彰しました。

＜受賞者数＞

区分	小学校	中学校	合計
個人	7 人	15 人	22 人
団体	3 団体	2 団体	5 団体

○「夢の教室」事業　　5,195 千円

小学 5 年生及び中学 2 年生を対象に、日本サッカー協会が派遣するスポーツ選手等を「夢先生」として講師に迎え、実体験に基づく講義や実技指導をとおして「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力することの大切さ」を学ぶ機会を設け、子どもたちに夢を持つことのすばらしさを伝えることで、心の教育の充実を図りました。

〈開催実績〉

開催校	学級数	夢先生の人数
14 校 （小学校 9 校・中学校 5 校）	28 クラス （小学校 15 クラス・中学校 13 クラス）	14 人

6 月 18 日（火）	6 月 18 日（火）	6 月 19 日（水）
一小	二小	一小・四小
新井　周 （卓球）	加藤　ゆか （競泳）	村上　範和 （サッカー）
6 月 19 日（水）	6 月 20 日（木）	6 月 20 日（木）
三小	一中	五小
高橋　良輔 （ボクシング）	久保　大樹 （パラ競泳）	千代反田　充 （サッカー）

6 月 21 日（金）	6 月 21 日（金）	7 月 2 日（火）
一中	三中	二中
高橋　萌木子 （陸上）	佐々木　唯 （ダブルダッチ）	桧野　真奈美 （ボブスレー）
7 月 2 日（火）	7 月 3 日（水）	7 月 3 日（水）
有明中	三会中	三会小・有明中
川上　直子 （サッカー）	西川　優大 （サッカー）	初瀬　勇輔 （パラ柔道）
7 月 4 日（木）	7 月 4 日（木）	
高野小・湯江小	大三東小	
田中　英雄 （サッカー）	田中　輝和 （サッカー）	

○島原城築城 400 年記念事業「ジュニア陸上教室」　209 千円

島原城築城４００年記念事業として、九州学生陸上競技連盟と共催で、小学生陸上教室を実施し、陸上競技の普及と競技力向上を図りました。

開催日	10 月 26 日（土）	開催場所	市営陸上競技場	参加者数	58 人

○施設管理の状況

施設名称	運営経費		運営経費のうち指定管理料	指定管理者
島原復興アリーナほか周辺施設	73,612 千円		58,451 千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	・アリーナで音楽しよう　・ゆかた着付け教室 ・はじめてのスケートボード教室　・ヨガ教室　・己書教室 ・バスケットボール教室　・復興応援チャリティコンサート ・サッカーコートライン引きサービス		
	施設整備	メインアリーナ空調室外機修繕、サブアリーナ空調室外機修繕、メインアリーナブラインド修繕、軽ダンプ自動車購入、スポーツトラクター購入、バーチドレイン購入、バーチカルサッチングリールユニット購入、ジュニア用サッカーゴール購入、メインアリーナ消火器購入、バドミントン得点板購入（15,161 千円）		
陸上競技場ほか周辺施設	29,884 千円		20,497 千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	・ジュニア陸上教室　・ジュニアマラソン教室 ・キッズサッカー教室　・初めてのソフトテニス教室 ・サッカーコートライン引きサービス		
	施設整備	陸上競技場電気計時計測装置保守点検､陸上競技場照明 LED 化修繕、陸上競技場南側ゲート舗装修繕、市営球場レフト側門扉修繕、市営球場レフト側門扉上部屋根設置、市営球場グラウンド整備、乗用芝刈機購入、バーチカルユニット購入、バッティングケージ購入（9,387 千円）		
霊丘公園体育館・弓道場ほか周辺施設	59,082 千円		49,626 千円	(一財)島原市教育文化振興事業団
	主な自主事業	・親子 de ヨガ　・バレーボール教室　・卓球教室 ・初心者弓道教室　・ワンポイント水泳教室 ・水中リズムウォーク　・空手教室　・柔道体験会		

	施設整備	温水プール台風被害による屋根等撤去応急対策工事、霊丘公園体育館・弓道場駐車場照明器具修繕、霊丘公園弓道遠的場的場修繕、低濃度 PCB 含有コンデンサー取替修繕、低濃度 PCB 含有コンデンサー廃棄処理業務、霊丘公園体育館・弓道場防犯監視カメラ設置設置（9,456 千円）		
有明プール	23,977 千円	23,438 千円	(株)しまばらウェルネッサンス	
	主な自主事業	・幼児水泳教室　・夏休み水泳教室　・保育園健康水泳 ・学童保育水泳教室　・夏休み土曜、日曜無料開放		
	施設整備	小プールポンプ取替修繕、ボイラー定期点検整備（539 千円）		
平成町人工芝グラウンド	15,982 千円	14,123 千円	(一社)長崎県サッカー協会	
	主な自主事業	・島原ＨＡＨＡＨＡサッカーフェスタ ・女性のための生き生き健康教室		
	施設整備	グラウンド東側フェンス出入口設置修繕、駐車場及び進入路区画線設置、運動器具修繕、テント用天幕購入、フットサル用ゴールネット購入（1,859 千円）		

○島原市温水プール新築工事　　107,961 千円

・市民のスポーツの振興と健康増進に活用するためのプール
・学校プールを集約化し水泳授業ができるプール
・九州大会規模の公式の大会ができるプール

以上の 3 項目を目的として、令和 7 年秋のオープンを目指し、新たな温水プールの整備を進めました。

（完成イメージ図）

〇日本スポーツマスターズ事業経費　　579 千円

競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典である日本スポーツマスターズ 2024 長崎大会が 9 月 28 日（土）から 10 月 1 日（火）まで開催され、本市では、サッカーとバレーボールが実施されました。各競技会場に、おもてなし・物販ブースを設け、本市の名産品を配付・販売し、全国から来島された関係者に島原市の魅力発信を行いました。

≪歓迎横断幕≫

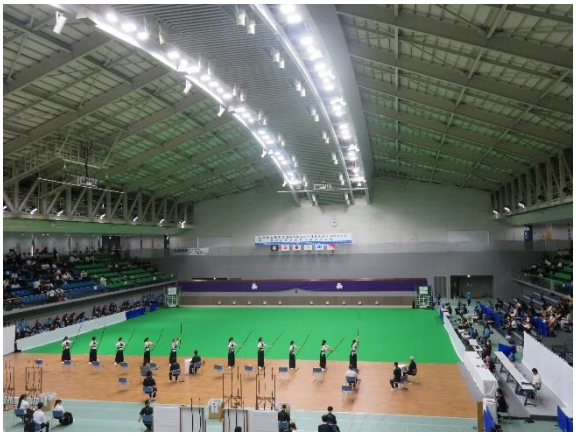
≪おもてなしブース≫

〇全国高等学校総合体育大会事業　　14,652 千円

令和 6 年度全国高等学校総合体育大会「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024」弓道競技大会を「駆け上がれ夢の舞台へ燃え上れ若人の魂」のスローガンのもと、全国から選手・監督、約 1,000 人の皆様をお迎えして、8 月 3 日（土）から 6 日（火）までの日程で開催しました。

本大会では、地元「島原高校女子個人・団体」、「島原商業高校女子団体」も出場したこともあり、会場となった島原復興アリーナは、大変な盛り上がりを見せ、競技をするものも、それを支えるものも一体となり、一人一人の高校生が輝きながら、見るものに感動を与えた思い出多い大会となりました。

＜令和 6 年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会 R6.8.3～6＞


大会会場　島原復興アリーナ

女子団体入賞（7 位）　島原高校

男子団体準優勝及び
技能優秀賞　海星高校

大会を支える高校生

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
10	5	3	学校給食費	263,130 千円	246,327 千円	422～427

【学校教育課】

○学校給食経費　　198,370 千円

児童生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図りました。

・消耗品費　11,935 千円
・学校給食業務委託料　127,440 千円
・学校給食配送業務委託料　14,124 千円
・その他委託料　6,675 千円
・機械器具費　19,961 千円
・学校給食会運営費補助金　18,235 千円

購入設置　消毒保管庫　第四小学校
真空冷却機　有明学校給食センター

（安全及び衛生管理）

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年３回（各学期毎）
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年５回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年１回（３納入業者）

（学校給食の充実）

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会（毎月）	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会（隔月）	食育の取組状況、 学校給食実施上の諸問題	給食会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

（完全給食実施状況）

名称	第二小 調理場	第三小 調理場	共同調理場	第五小 調理場	有明学校給食センター
食数（食）	第二小　305 第一中　448	第三小　257 第二中　191 第三中　191	第一小　495 第四小　213 三会小　249 三会中　149	第五小　401	大三東小 270 高野小　74 湯江小　252 有明中　280
年間合計	141,990 食	119,157 食	207,538 食	76,554 食	163,446 食
主食回数	米飯給食　週３回、パン給食　週２回				

○「おいしくいただきます」子育て応援学校給食費支援事業補助金　　29,610 千円

高騰する食材費の増額分を、給食費の値上げではなく国の交付金を活用することによって、保護者の金銭的な負担増を回避するとともに、安心安全な学校給食を提供することができました。